

「夢と自立へ一歩前進」

令和6年5月2日 4号
文責 進路指導主事 岸谷

新学期がスタートして、1ヶ月が過ぎました。心機一転で臨んだこの1ヶ月は、どうでしたか？ 私自身を振り返ると、「校長先生と一緒に朝の登校指導を頑張る」という目標を達成することができたので、「一歩前進した！」と感じています。その登校指導で、「みんな成長したな～」と感じた行動を下にまとめました。**6つの前進ポイントの中で、あなた自身にはいくつ当てはまりますか？ 明日からのGW中に自分の行動を振り返り、次の1ヶ月に前進するための目標を考えてほしいです。**一緒に前進していきましょう！

～登校時の様子で、「一歩前進した」と感じた行動 6つの前進ポイント～

- ◎私よりも先に(自分から)、挨拶をする人が増えました♪
- ◎私が生徒玄関前を掃除していると、自分から手伝ってくれた人がいました♪
- ◎「朝ご飯は何食べた？」と聞くと、「当ててみてください」、「先生は何を食べたんですか」と『問い返す＝挨拶＋一言会話』ができる人が増えました♪
- ◎寝ぐせや学ランのボタンなど、「身だしなみを整えよう」と意識する人が増えました♪
- ◎自転車で登校する人が増えました♪＝早起きができる人が増えた!?
- ◎遅刻をする人がゼロでした♪＝時間を守る人が増えました♪

社会科の宿題で、右の新聞記事をもとに、「制服は必要か？不要か？」を考えました。その結果は、

○必要76% ×不要26%

結果よりも、判断した理由から、**多面的・多角的に判断している様子が感じられてよかったです！**

公立中高制服 最大6万円の差

「学校指定の制服が高すぎる」。親のそんな嘆きを聞いたことはないだろうか。公正取引委員会（公取委）が全国の公立中学・高校の制服の価格を調査した結果、中学校では1着あたり7万円を超える学校があり、最も安い学校と比べると最大約6万円の差が生じていることがわかった。こんなに大きな価格差が生まれる事情とは？

公取委は2022年12月、公立中学200校と高校750校を対象に、制服1着あたりの価格を調査し、約8割が回答した。その結果、最も高い学校と最も安い学校の価格差は中学女子のセーラー服で特に大きく、右の図の通り、6万円もの開きがあった。中学男子の詰め襟（学ラン）や高校

必要な情報を公開することなどを求めてきた。ただ、中学の6割、高校の3割は、こうした対策をまったくとっていないという。対応をとった学校

制服の種類別の価格差(公正取引委員会調べ)



「進路関連情報チェック」

- 第1回進路希望調査の締め切りは、5月7日（火）です。
3年生のみなさん、未提出の人は忘れずに提出してください。

